



中部電力

中部電力株式会社

会社説明資料

証券コード 9502

2024年12月3日
楽天証券 個人投資家向け会社説明資料

01

中部電力グループの概要

02

事業紹介

03

決算状況と株主還元

01 中部電力グループの概要

みなさまに質問です。

中部電力グループが保有する
電線の総延長
はどれほどでしょうか？

みなさまに質問です。

送電線・配電線の総延長

148,278

km

\地球**3.7**周分/\



※2024年3月末時点

みなさまに質問です。

中部電力グループが保有する
電柱の総数
はどれほどでしょうか？

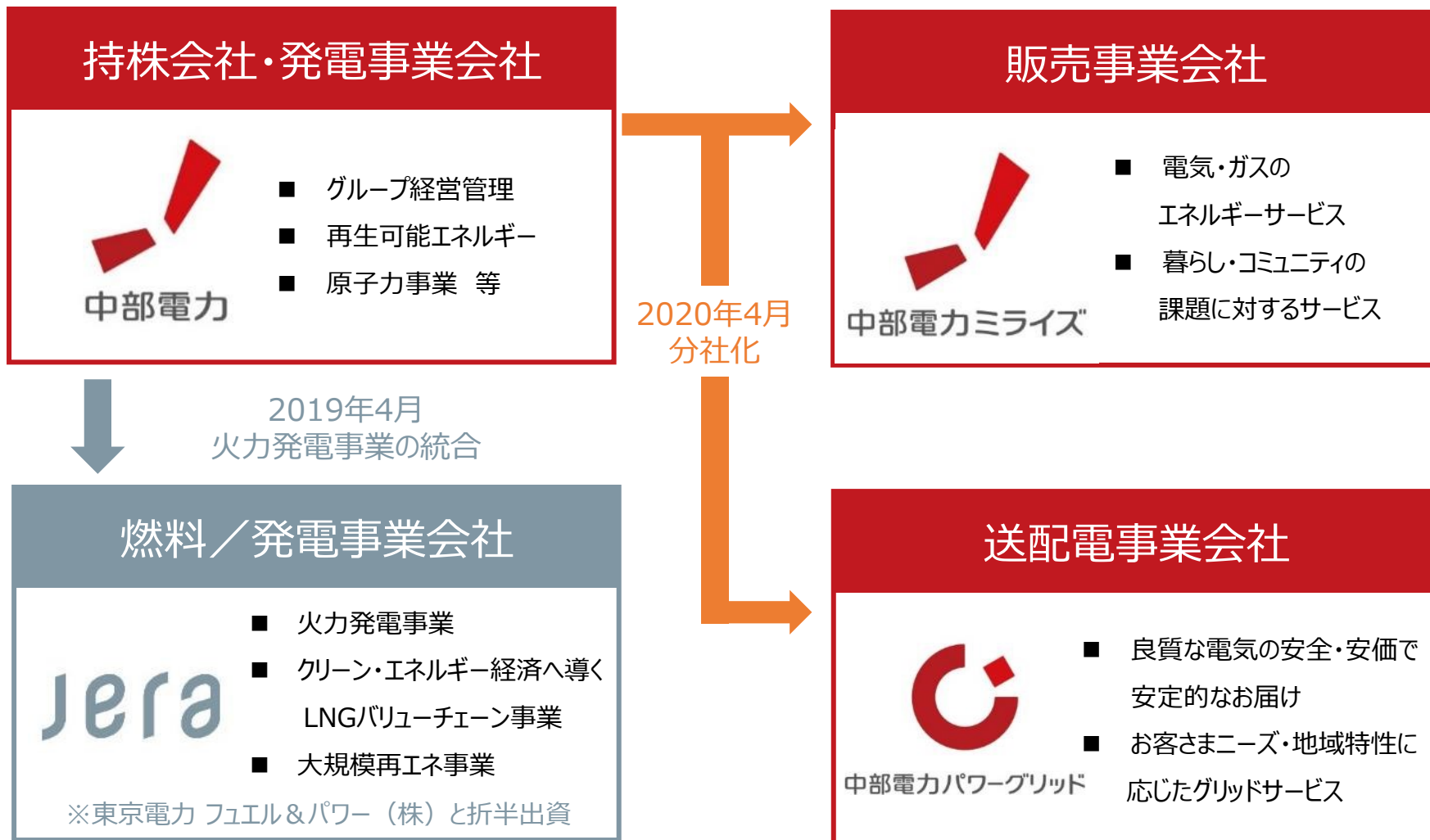
みなさまに質問です。

配電線を支える支持物（電柱など）

2,877,484 本

※2024年3月末時点

中部電力グループの事業体制





中部電力パワーグリッドの目指す姿

電力の安定供給を柱に、地域のお客さまへ安全・安心をお届けする



再生可能エネルギーの導入拡大に向けて

地域マイクログリッドの運用

2024年3月に中部電力パワーグリッド、日本ガイシ、恵那市の3者にて、中部電力パワーグリッド管内初となる地域マイクログリッドの運用を開始しました。

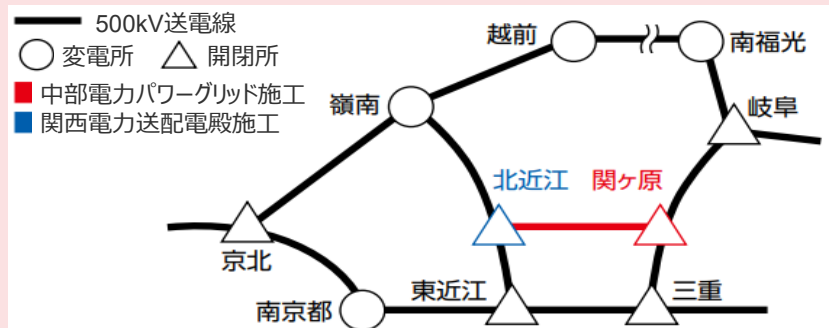
地域内の蓄電設備や再エネなどによって電力を地産地消するほか、地域の災害対応力の強化、再エネの利用促進に貢献します。



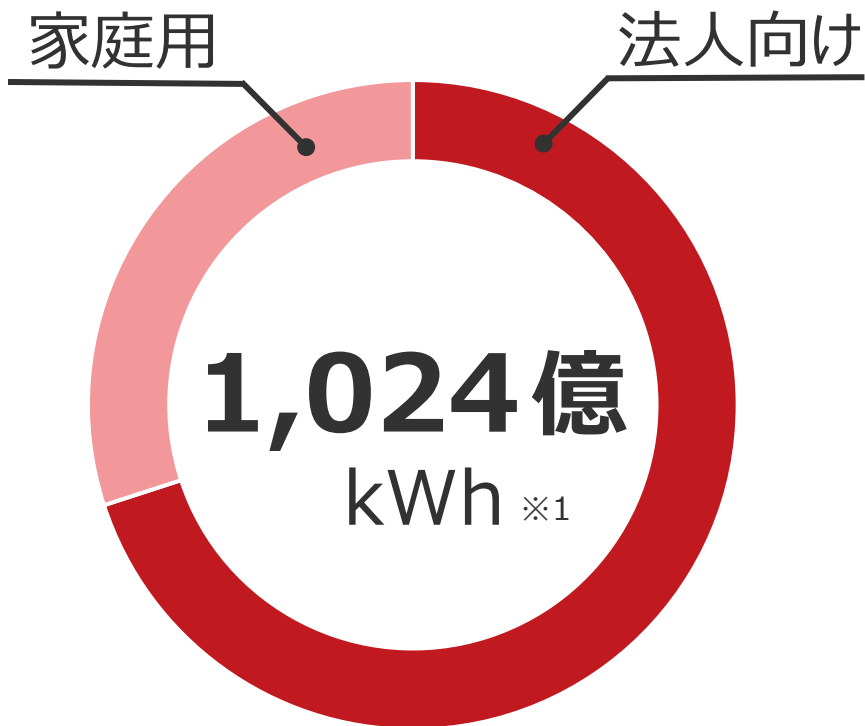
(写真：吉田発電所)

地域間連系線の増強

中部関西間の連系線を増強することで、再エネの導入拡大に対応するとともに、供給信頼度を高めていきます。



年間販売電力量



中部電力の強み

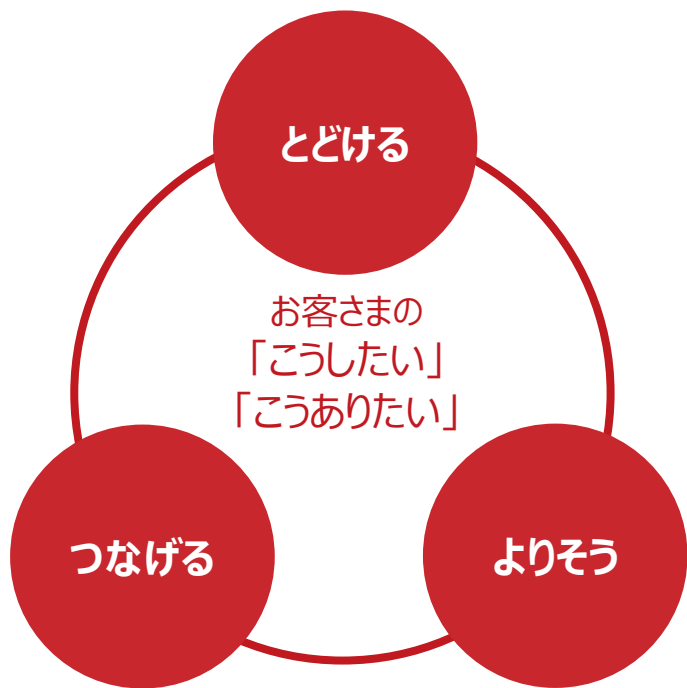
- 長年培ったエネルギー利用や脱炭素化のノウハウを活かした **高い技術力・提案力**
- お客さまとの幅広い接点と **お客さまからの信頼**

全国シェア **12** % ※2

※1 2022年度実績 ※2 全国の小売電気事業者700社超のうち

中部電力ミライズの

目指す姿



大切なエネルギーとともに、毎日に役立つサービスを「とどける」
お客様一人ひとりのくらしやビジネスに「よりそう」
人と人、人とコミュニティを新しいかたちで「つなげる」

法人向け

エネルギーコンサルサービス 脱炭素ソリューション提案



みんなの
脱炭素
PROJECT

家庭用

エネルギー最適化提案



中部電力
ミライズショップ
1号店 OPEN!

イオンモール
ナゴヤドーム前
3階



株式会社JERA
(持分法適用会社)

安定供給と脱炭素化を両立するための基盤を世界へ提供することで、世界の健全な成長と発展に貢献し、企業価値最大化を目指す

燃料事業

世界最大級のLNGバリューチェーンプレーヤー

- 火力発電用燃料となるLNGを生産・輸送
- LNG取扱量は世界最大級年間3,600万トン

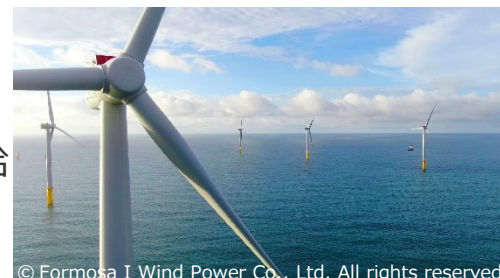


LNG輸送船「信州丸」

海外・再エネ発電事業

国内外へクリーンエネルギー供給基盤を提供

- 再エネと低炭素火力を組み合わせた、クリーンエネルギー供給
- 水素・アンモニア生産にも寄与する



© Formosa I Wind Power Co., Ltd. All rights reserved.

洋上風力プロジェクトフォルモサI

国内火力・ガス事業

電力の安定供給を担う日本最大の発電会社

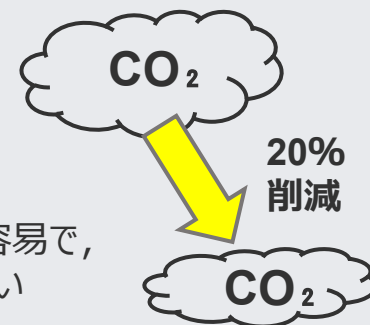
- 国内の発電電力量の約3割相当を発電
- 安定供給と並行して、アンモニア燃料への転換にも挑戦



碧南火力発電所

アンモニアのメリットについて

- 国内の石炭火力発電にて、20%のアンモニア混焼を実現した場合、約4千万トンのCO₂を削減
- 液体状態での輸送や貯蔵が容易で、既存のインフラとの互換性も高い



「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」



本店所在地 : 名古屋市東区東新町 1 番地

設立 : 1951年

従業員数 : 28,374人 (連結)

売上高 : 3.6兆円 (連結)

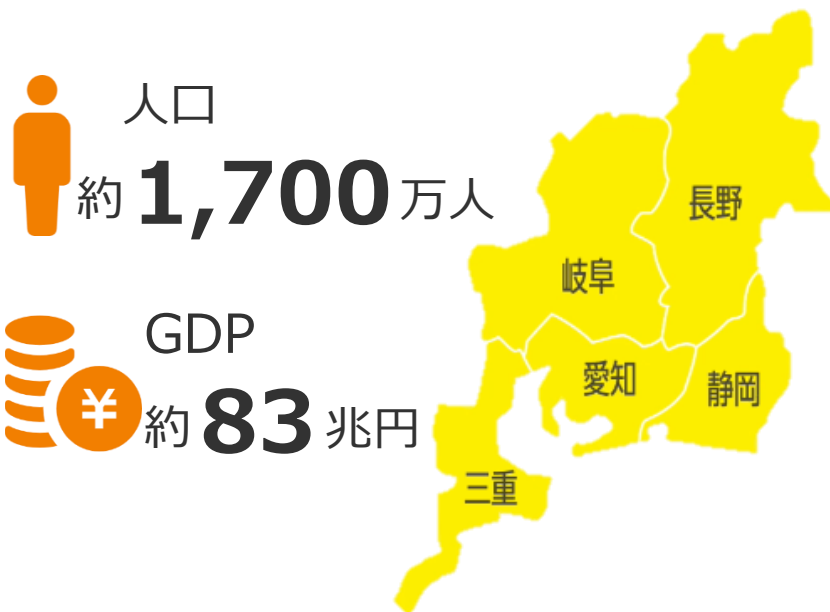
資本金 : 4,307億円

自己資本比率 : 36.4%

グループ会社 : 連結子会社 73社
関連会社 79社

※2024年3月末時点

主要な事業エリア



国内総生産の

約 **14** % を担うエリア

※2021年度

電力業界



業界各社の売上高

TEPCO 東京電力ホールディングス株式会社	6.9兆円
 関西電力	4.1兆円



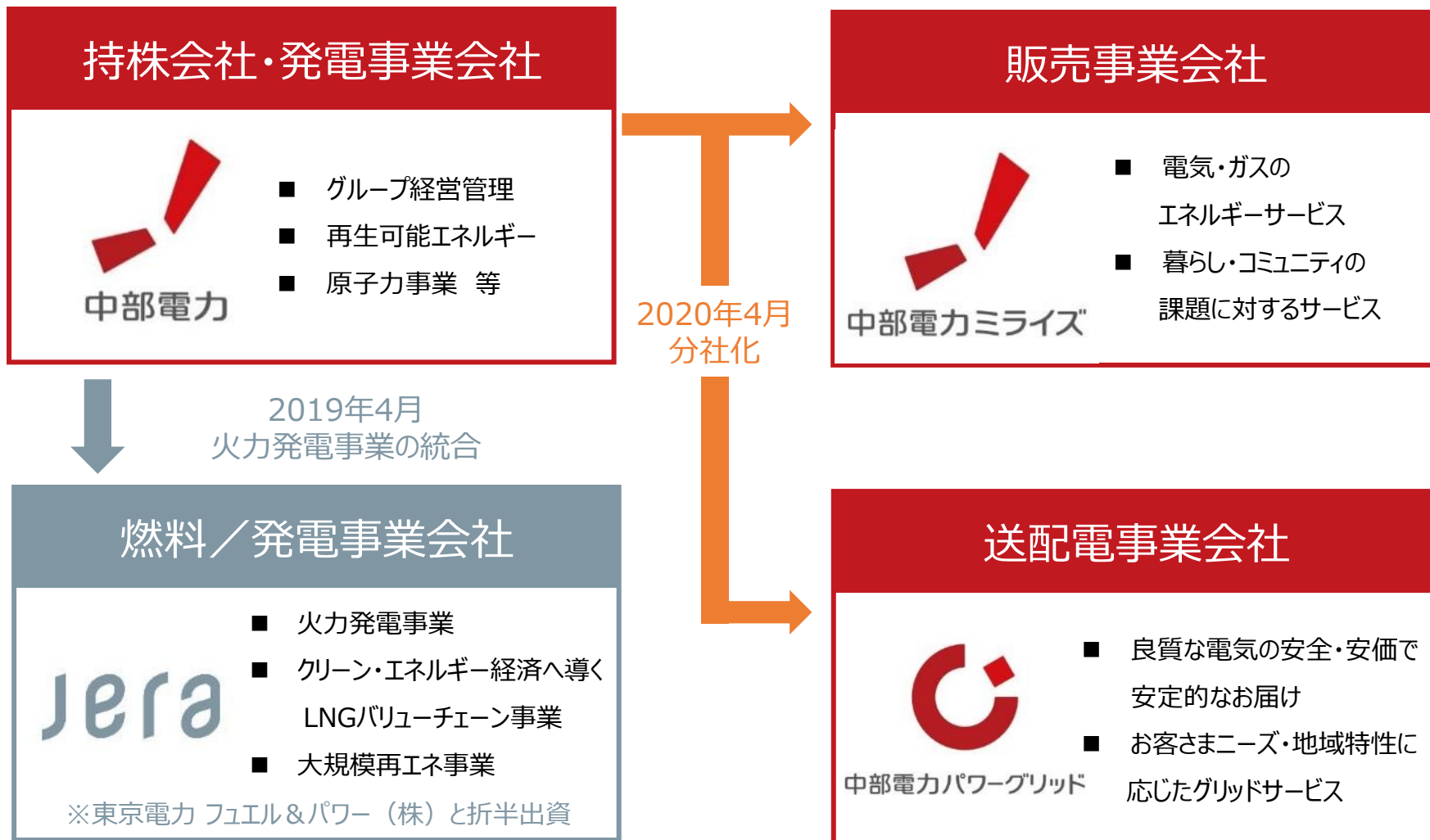
中部電力 **3.6**兆円

売上高・販売電力量は業界

第 **3** 位

※2023年度実績

中部電力グループの事業体制（再掲）



中部電力グループの事業体制

※連結子会社および持分法適用関連会社



海外事業

Eneco社
Bitexco Power社
など



再生可能 エネルギー事業

(株) ジエネックス
愛知蒲郡バイオマス発電(合)
など



不動産業

(株)日本エスコン
中電不動産(株)
など



建設業

(株)トーエネック
(株)シーテック
など



製造業

中部精機(株)
東海コンクリート工業(株)
など



情報通信業

(株)中電シーティーアイ
中部テレコミュニケーション(株)
など



サービス業など

(株)テクノ中部
中電ウイング(株)
など



コミュニティサポート インフラ関連事業

(株) e-Mobility Power
中部テレメータリング(合)
など

02 事業紹介

脱炭素事業のグローバル展開

- 欧州・アジア・太平洋等を中心に、脱炭素につながる投資を継続し、**収益基盤の強化と利益拡大**を図っております。
- 獲得した知見を活用するなど、**国内事業とのシナジー**を高めてまいります。



オランダ洋上風力発電プロジェクト



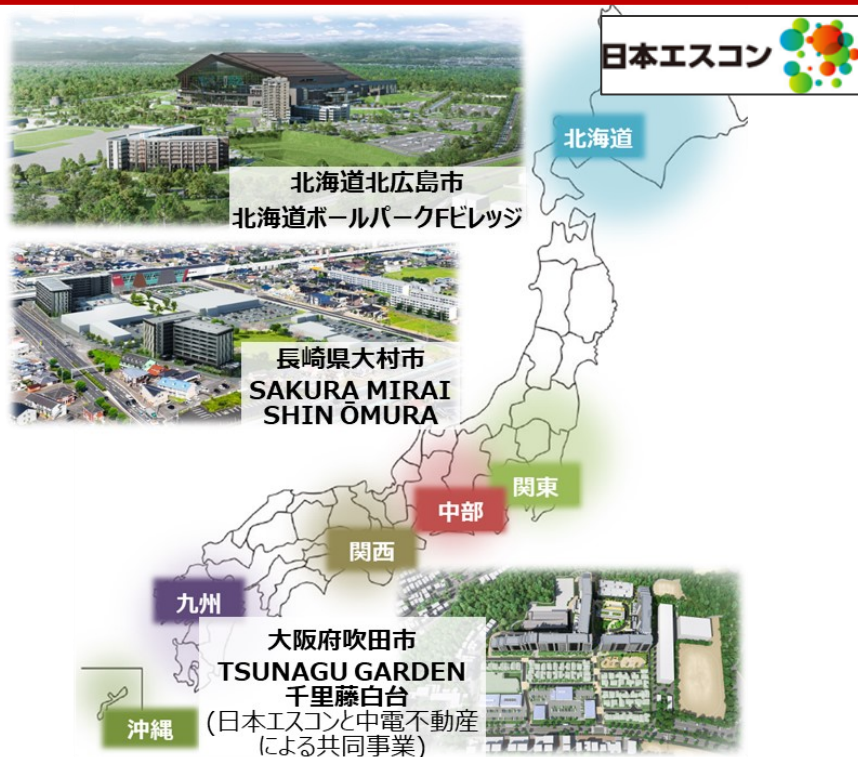
Eavorを通じたクローズドループ地熱利用技術



不動産事業を通じた地域活性化

- 収益構造の安定化とともに、多様なアセットタイプ開発・バリューアップを促進し、さらなる成長を目指します。
- 地域のお客さまニーズを踏まえた地域共生施設の開発、災害時も視野に入れた設備設計など、安全で安心な地域づくりへ貢献していきます。

エリア広域化 × ジャンル多様化による成長



中部エリア中心の地域密着型まちづくり

iiNEタウン瑞穂



【pick up】iiNEタウン瑞穂

- 名古屋市瑞穂区において、「地域の暮らしを支え、ゆたかにする多世代共生のまちづくり」をコンセプトとし、生活インフラを支える中部電力グループ会社「らしい」開発であることと、まちづくりを通していかに「**地域への貢献**」ができるかという思いを大切に開発を進めております。
- 暮らしに必要な施設やサービスを充実させるため、**商業マルシェ、飲食店、医療施設、介護施設、子育て支援施設、分譲マンション**等を有するだけでなく、地域の皆様へ開放する**災害対策**も整備しております。



暮らしの施設「iiNE Marche」

- 1階はデパ地下のような専門店街
- 2階は生活雑貨店が入居
- その他、医療モール、高齢者施設、子育て支援施設も敷地内に併設

防災設備や広場を設置

① かまどベンチ

災害時はベンチの蓋を外すことで炊き出しに利用できます。



④ 防災倉庫

防災備蓄品を保管する防災倉庫を整備しています。



② 公開広場

日常時は地域に開かれた広場としてどなたでも利用できます。災害には避難広場として退避できます。



⑤ 防災井戸

災害時における生活用水として井戸水を汲み上げることができます。



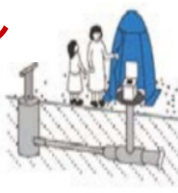
③ 太陽光発電

災害時に携帯電話の充電などに利用できる非常用コンセントを整備しています。



⑥ マンホールトイレ

災害時における仮設トイレとして利用することができます。



地域の活性化と課題解決への貢献

- 暮らし・産業・コミュニティなどのあらゆる課題を解決するサービスへ昇華し、「新しいコミュニティの形」を創造します。

みまもりポールサービス (当社設備を生かしたサービス)

みまもりポール 公共利用サービス

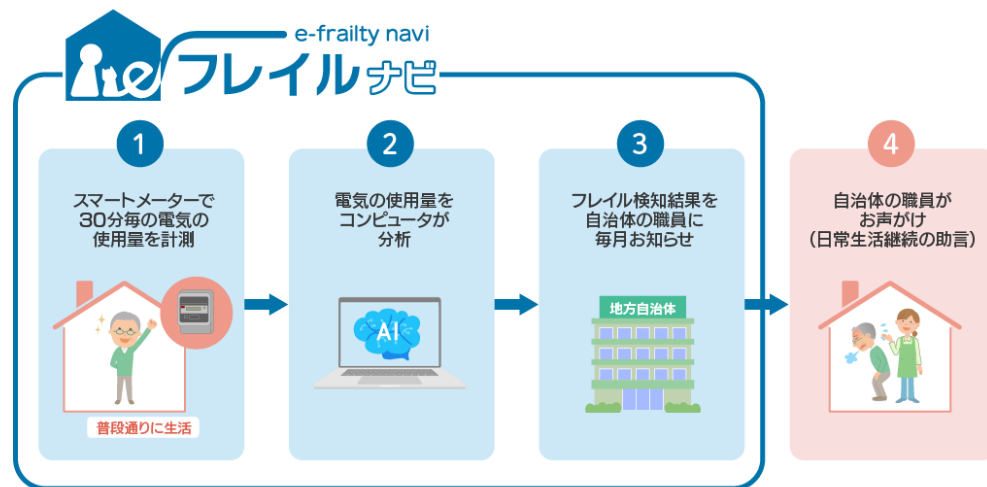
対象：自治体・自治会などの公共的団体



**約583団体に3,548台超の契約実績
(2024年9月時点)**

自治体向けフレイル検知サービス (電力データ×AIを活用したサービス)

第6回日本オープンバージョン大賞
「選考委員会特別賞」受賞



**全国13自治体で導入、順次拡大中
(2024年8月時点)**

資源循環に向けた取組み

- 社会・地域を支える企業として、様々なパートナーの皆さまとともに、資源循環・上下水道・森林経営・地域交通といった地域基盤の強化に繋がる「**地域インフラ事業**」を展開し、マルチユーティリティとして**インフラの合理化・地域課題の解決**に貢献します。

地域の未利用資源・ 環境価値のさらなる活用



資源循環サービス「PASSTO」を活用した
アピタ・ピアゴ18店舗における不要品回収を開始

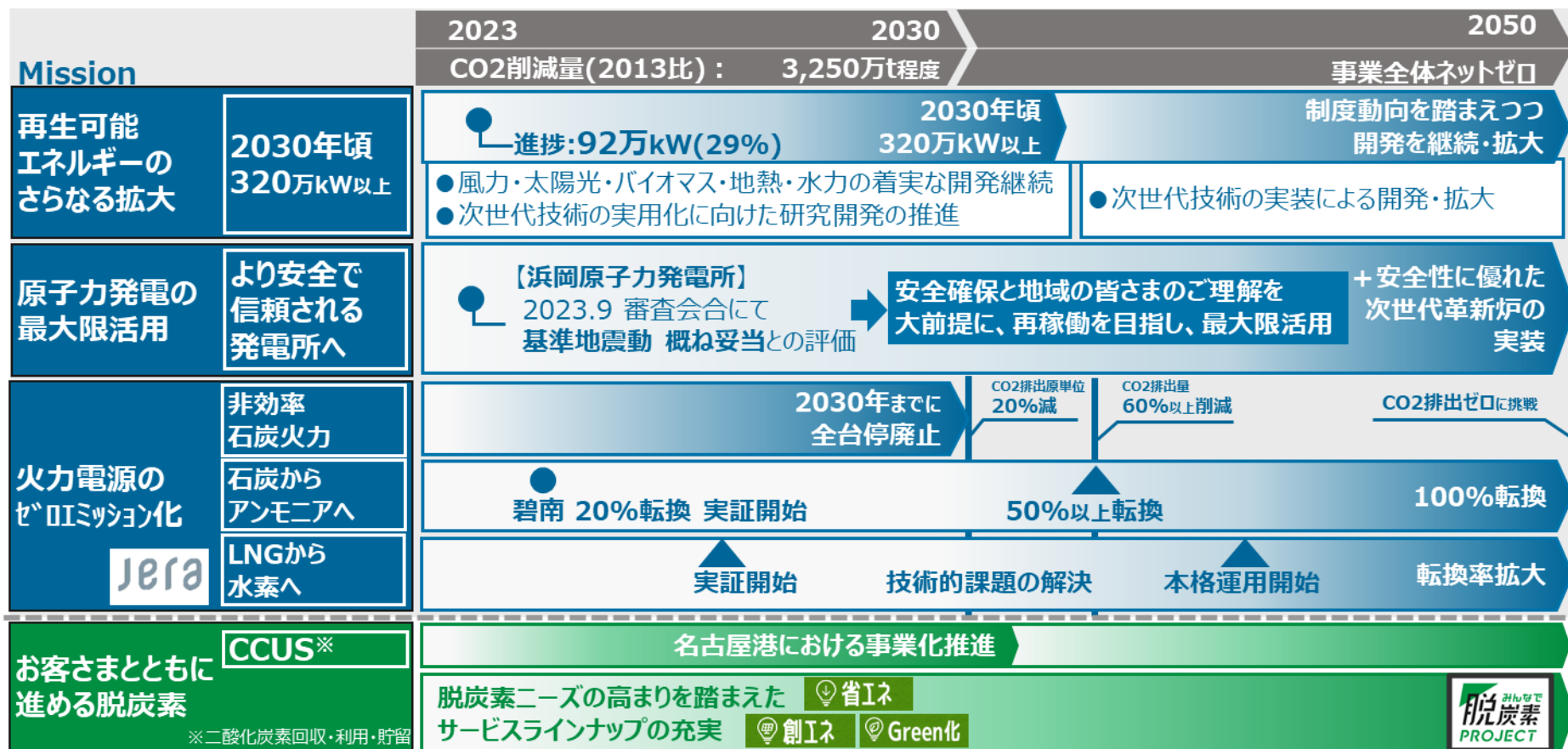
持続可能な森林経営 森林環境の保全



北海道で住宅用木構造材を生産，販売
森林資源活用・住宅用木構造材の国産化を推進

脱炭素社会実現に向けた取組み

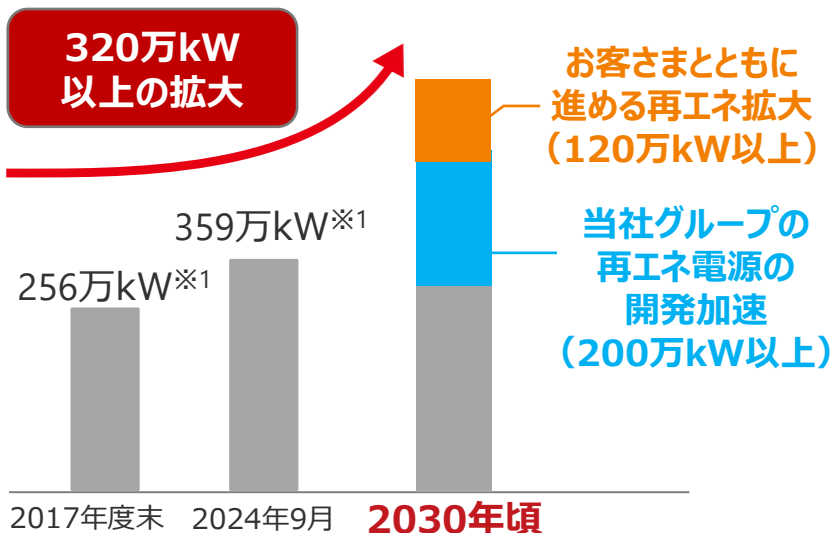
- 中部電力グループは、脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの拡大や、水素・アンモニアサプライチェーンの構築を含むゼロエミッション電源の追求などに、引き続き取り組んでまいります。



再生可能エネルギー拡大への取組み

●2030年頃に、320万kW以上の再生可能エネルギー開発・拡大を目指し、引き続き、積極的な電源開発に取り組んでまいります。

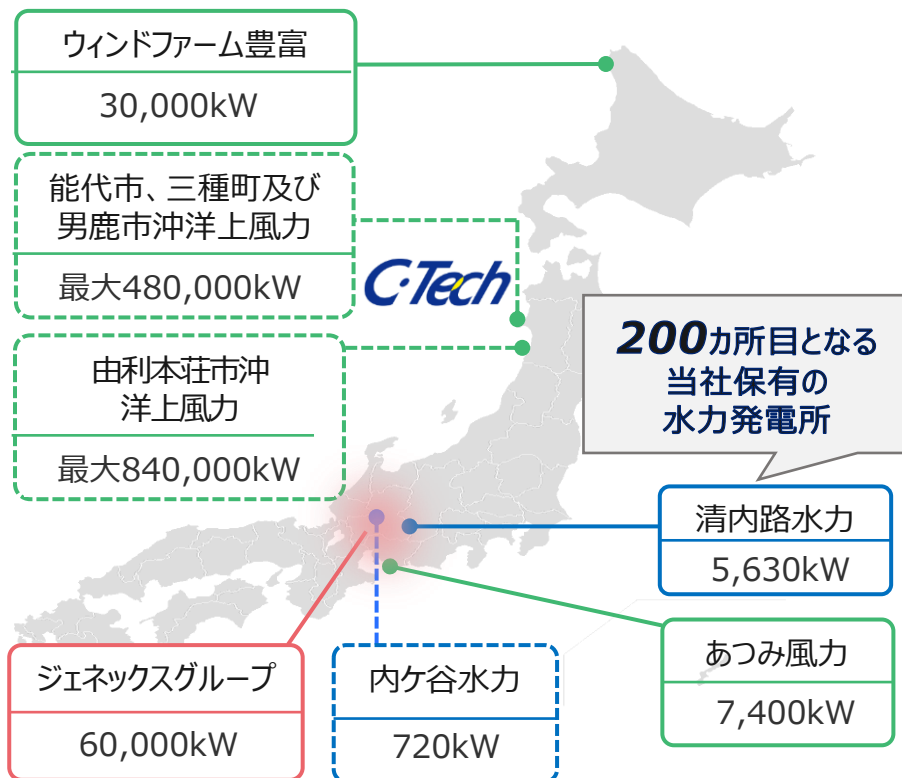
進捗状況 103万kW (32%) ※1



※1 グループ会社を含む容量 (開発決定後)

2023年度の主な運転開始地点／開発中の地点

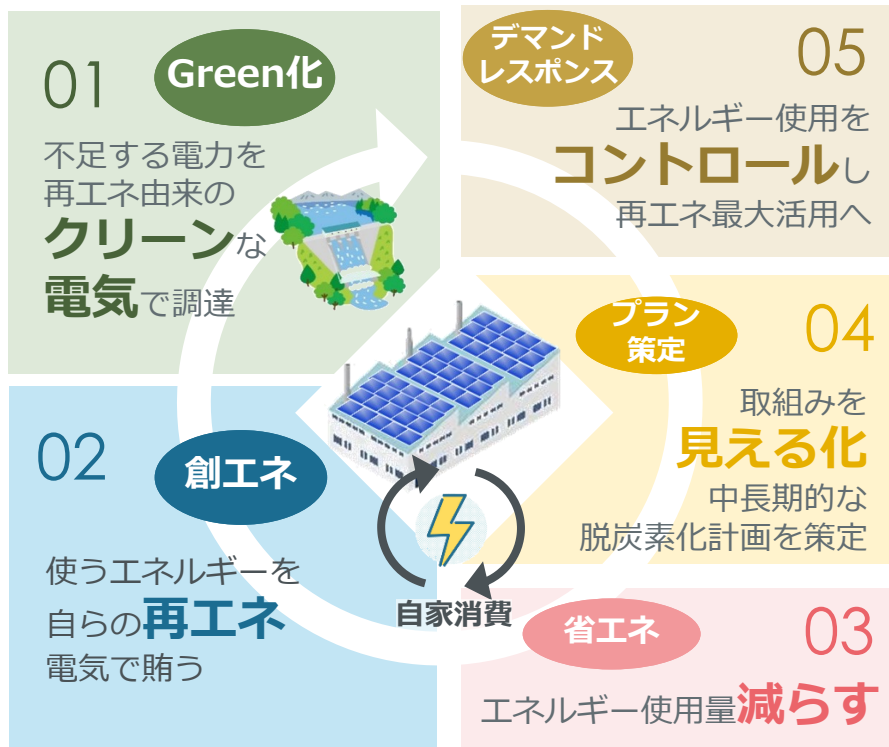
--- : 開発中の地点 — : 2023年度運転開始地点



お客さまとともに進める脱炭素

- 中部電力ミライズでは、「みんなで脱炭素プロジェクト」を通じた、多様な脱炭素ソリューションを提供しております。
- 名古屋港周辺の脱炭素化支援として、CCUSの実現に向けた調査を実施しております。

みんなで脱炭素プロジェクト



名古屋港周辺の脱炭素化支援

CCUSの実現に向けた、CO₂回収・集約、有効活用および海外のCO₂貯留地への輸送に関する調査等を実施

名古屋港の特徴
貨物取扱量が日本最大
CO₂排出量は日本の3%

CCUSとは？

二酸化炭素の回収・有効利用・貯留(Carbon dioxide Capture, Utilization or Storage)の略語。
火力発電所や工場などからの排気ガスに含まれるCO₂を分離・回収し、資源として作物生産や化学製品の製造に有効利用する、または地下の安定した地層の中に貯留する技術。

〔CCUSのイメージ〕



浜岡原子力発電所の再稼働に向けて

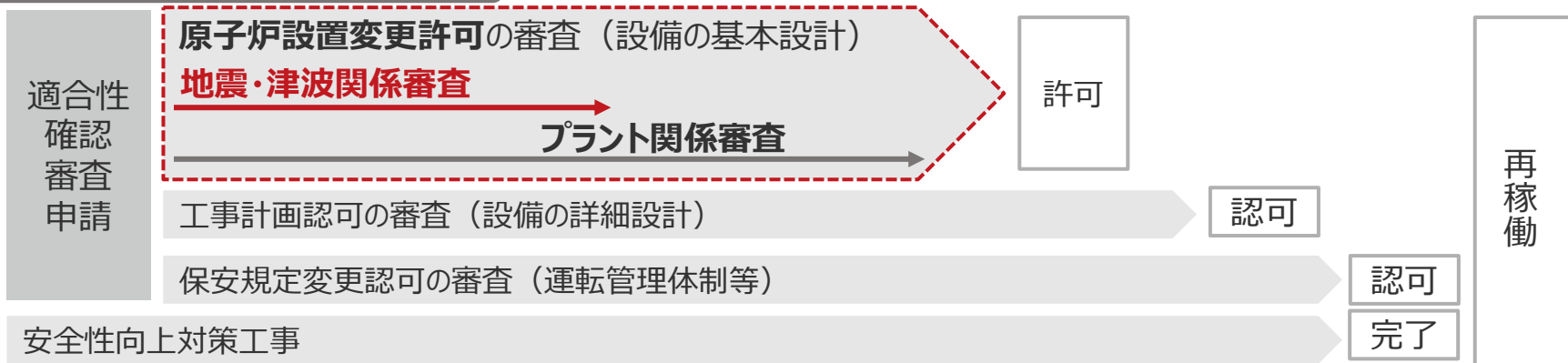
- 地域の皆さまと丁寧なコミュニケーションを図り、安全確保を大前提に、浜岡原子力発電所の早期再稼働に向けて全力で取り組んでまいります。

【pick up】 基準地震動・基準津波について

2023年9月に、浜岡原子力発電所の審査会合で、**基準地震動が「おおむね妥当」と**の評価を受け、また、**2024年10月**、同様に**基準津波が「おおむね妥当」と**の評価を受けました。基準津波の審査としては、約7年来の大きな動きとなりました。



新規制基準適合性確認審査



03 決算状況と株主還元

2023年度中部電力グループの決算概要

- 一時的な利益押し上げ要因は含まれますが、中部電力パワーグリッドにおける**需給調整費用の減少**や、中部電力ミライズにおける**電源調達価格の低下**、**徹底した経営効率化施策等**により、期ずれを除き3,710億円程度の連結経常利益となりました。
- **資源価格や制度の見直し**など、**不透明な事業環境が継続**することが予想されますが、これらの環境変化に対応し、ステークホルダーの皆さまへの価値提供を最大化すべく、成長に向けた取組みを加速させてまいります。

(億円,%)

	2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	36,104	39,866	△3,762	△9.4
営業損益	3,433	1,070	2,362	220.6
経常損益	5,092 (3,710程度)	651 (1,560程度)	4,441 (2,150程度)	681.7 (137.8)
特別利益	92	453	△361	△79.7
特別損失	126	417	△291	△69.7
親会社株主に 帰属する当期純損益	4,031	382	3,649	954.5

(注) () 内は期ずれ除き経常損益

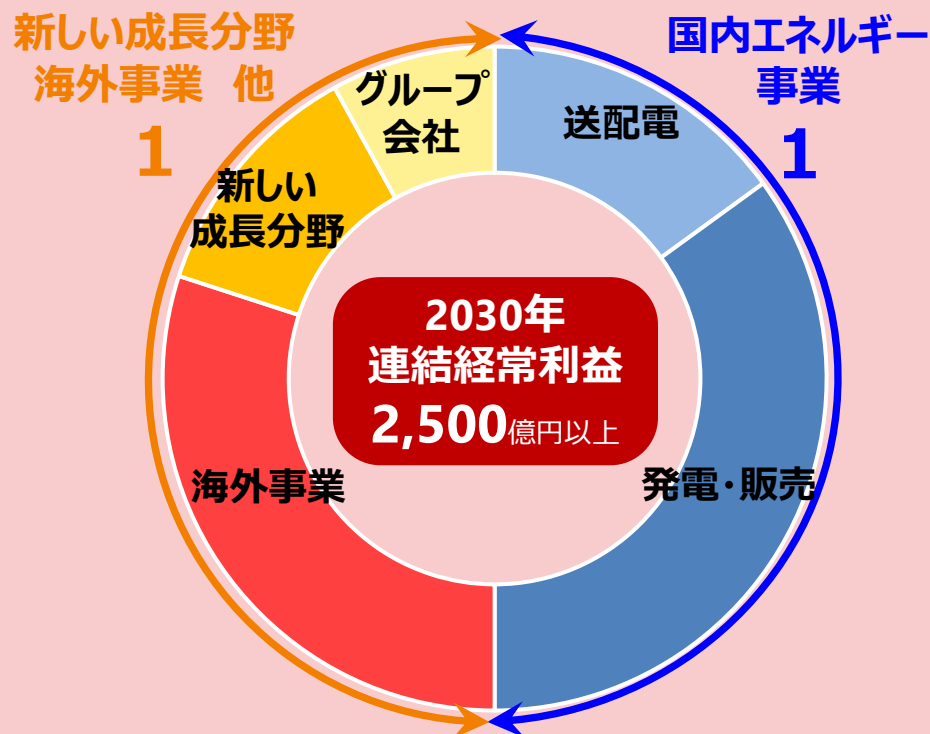
- 大きな環境変化が起こる中で、変化を好機と捉え、経営体質を変えていくことが重要だと考え、事業ポートフォリオの見直しを実施いたしました。

2025年中期経営目標

2025年度
連結経常利益※
2,000 億円以上
ROIC※
3.2 %以上

※期ずれ除き

2030年経営ビジョン2.0




資本コストを意識した経営の実現とPBRの向上

- 各事業の自律的な経営と最適な資源配分・モニタリングにより、資本コストを上回る資本効率を目指してまいります。
- 株主・投資家の皆さまとの積極的な対話や開示、安定配当と利益成長に応じた還元拡大等を通じ、PBR向上を目指してまいります。

[ROEの向上:ROIC経営の深化]

要素	観点	対応の方向性	足元での具体的取り組み
<p>ROIC</p> <p>↓</p> <p>WACC</p> <p>×</p> <p>財務レバレッジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利益率の向上 ■ 資産効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コストダウン推進と適切な販売価格による安定的な収益獲得 ✓ 資産の稼働率向上、不要資産削減 ✓ 経営資源配分の最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中部電力ミライズにおける標準料金メニュー見直し ● 水力発電量の増電(利用率向上等) ● 政策保有株式の縮減 ● 投資環境に応じた投資計画の見直し(グローバル事業等における投資厳選等) ● 中長期の最適な資本構成について継続検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財務レバレッジの適正化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 格付、リスク量、資本効率を踏まえた資本構成 	

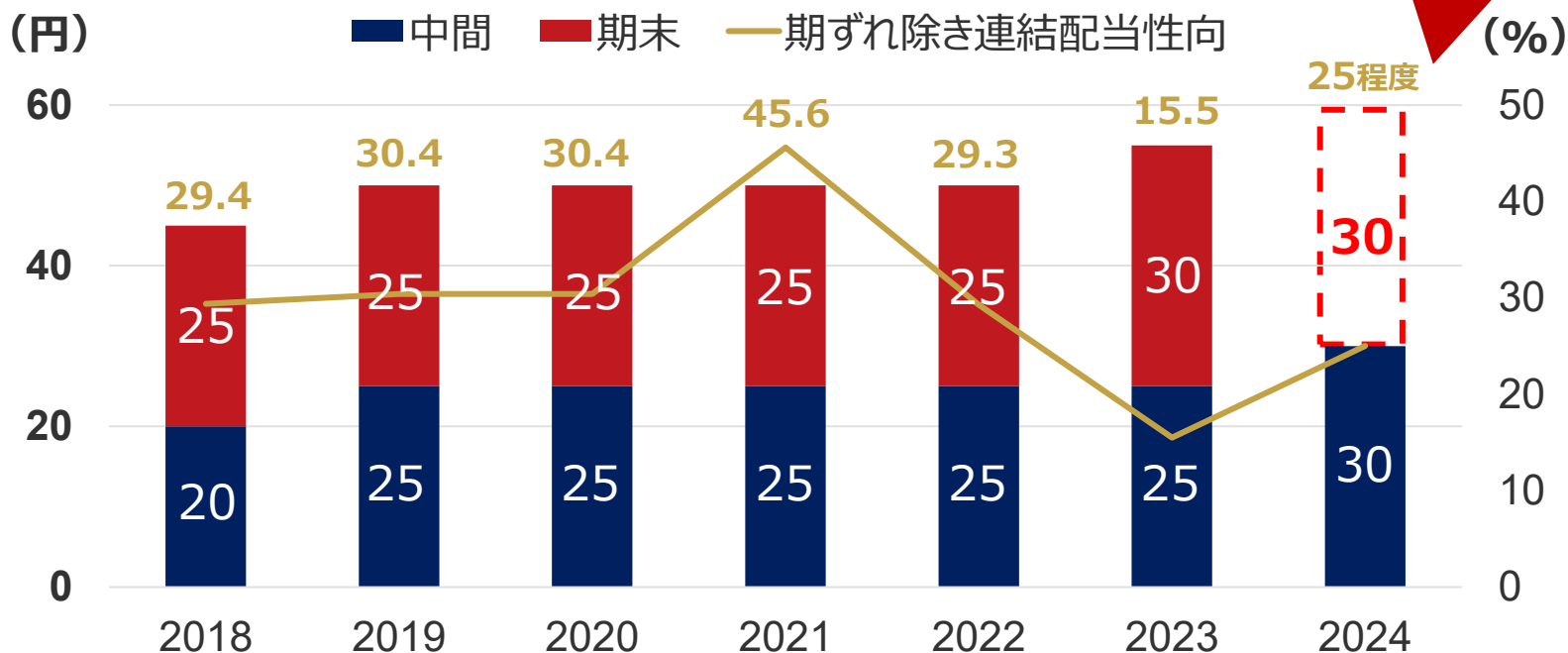
[PERの向上]

要素	観点	対応の方向性	足元での具体的取り組み
<p>株主・投資家の 予見性向上^{※1}</p> <p>※1 WACC低減にも寄与</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資本市場との対話、開示 ■ 業績のボラティリティ低減 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 投資家との対話、開示充実 ✓ リスク管理高度化による収支安定化 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 機関投資家・アナリストとの対話(2023実績) <ul style="list-style-type: none"> ▶ 決算・経営計画説明会開催(4回) ▶ IR部署によるミーティング(150回) ▶ 社長・CFO・社外取締役等によるミーティング(49回) ● 電源調達におけるリスクヘッジ(オプション・スワップ取引等) ● 増配公表(2024年度予想:60円/株) ● 監査等委員会設置会社への移行 ● 役員報酬への気候変動対応項目^{※2}の組み込み <p>※2 CO₂排出量「GXリーグに登録した2025年度目標」に対する達成度合い</p>
<p>株主還元</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株主還元方針に則った着実な還元 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安定配当と配当性向30% 	
<p>ESG経営の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ESG経営推進による企業価値向上・経営リスク低減 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ESG各項目に係る着実な取り組みと非財務情報の開示 	

株主還元方針

- 電力の安全・安定的な供給のための設備投資を継続的に進めつつ、成長分野への投資を推進することで、持続的な成長を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。
- 株主還元については、重要な使命と認識し、**安定的な配当の継続を基本としながら、利益の成長を踏まえた還元**に努め、連結配当性向30%以上を目指してまいります。

1株当たりの年間配当金額の推移



本日のまとめ

中部電力グループの目指す姿

「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」

変わらぬ使命の完遂

中部地域に根差したエネルギー事業
安全・安価で安定的な電力供給

新たな価値の創出

事業環境の変化に対応した、
新しいサービスの提供

脱炭素社会への貢献

脱炭素電源の開発・拡大
社会やお客さまとともに脱炭素化を促進

安定した株主還元

安定配当と利益成長を踏まえた還元

参考資料

足元の決算状況（2024年度第2四半期決算）

- 売上高：17,664億円
燃料費調整額の減少（△1,562億円※）などから、前年同期に比べ750億円の減収
※政府の電気料金支援 +458億円を含む
- 経常損益：1,879億円
期ずれ差益の減少（△1,210億円）や、中部電力ミライズにおける卸電力取引市場を通じた電源調達割合の減少、中部電力パワーグリッドにおける需給調整にかかる費用の増加などから、前年同期に比べ1,893億円の減益

(億円,%)

	2024/2Q (A)	2023/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	17,664	18,415	△750	△4.1
営業損益	1,427	2,456	△1,029	△41.9
経常損益	1,879 (1,890程度)	3,773 (2,570程度)	△1,893 (△680程度)	△50.2 (△26.6)
特別損益	—	64	△64	—
親会社株主に帰属する中間純損益	1,469	3,115	△1,645	△52.8
自己資本比率	38.9	36.5	2.4	—

(注) () 内は期ずれ除き経常損益

2024年度決算見通し

- 売上高 : 3兆6,000億円
- 経常損益 : 2,750億円

夏季の気温が平年に比べ高めに推移したことによる冷暖房設備の稼働増に加え、中部電力ミライズの電源調達コストの削減や、中部電力パワーグリッドの需給調整にかかる費用の減少などが影響。

(億円,%)

	2024年度見通し (A)	2023年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	36,000	36,104	△100程度	△0.3
経常損益	2,750 (2,500程度)	5,092 (3,710程度)	△2,340程度 (△1,210程度)	△46.0 (△32.6)
親会社株主に帰属する当期純損益	2,100	4,031	△1,930程度	△47.9
ROIC	4.0程度	5.5	—	—
ROE	7.0程度	11.6	—	—

(注) () 内は期ずれ除き経常損益

株価・投資関連情報



配当利回り[※] : 3.4%

PBR[※] : 0.47倍

PER[※] : 6.32倍

時価総額[※] : 1兆3302億円

期末配当基準日 : 3月31日

中間配当基準日 : 9月30日

単元株数 : 100株

最低購入金額[※] : 17万5,500円

※ 2024年10月31日終値より算出

IR情報サイト

財務・株式情報などの
IR・投資家向け情報は
こちら



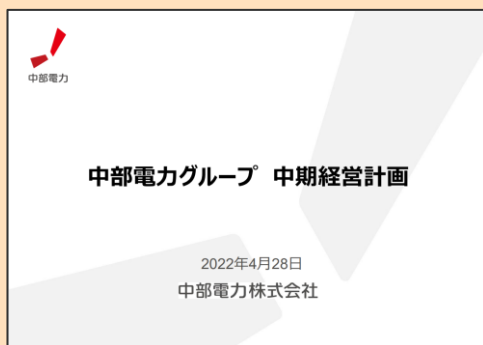
<https://www.chuden.co.jp/ir/>

中部電力グループレポート



https://www.chuden.co.jp/csr/csr_report/

中期経営計画



https://www.chuden.co.jp/corporate/cor_policy/management/

サステナビリティ情報



<https://www.chuden.co.jp/csr/environment/zeroemissions/>

主な外部評価 ※



「えるぼし」
(3段階目)



「プラチナくるみん」



「健康経営優良法人2024」
4年連続・通算5回目
電気・ガス業界で4年連続1位



「DX認定事業者」

ESGインデックスへの組入れ状況 ※

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数
(WIN)



S&P/JPXカーボン・
エフィシエント指数



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index

MORNINGSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2024

Morningstar Japan ex-REIT
Gender Diversity Tilt Index

※2024年10月末時点

見通しに関する注意事項

本資料は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。よって、記載されている将来に関する記述は、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向などにより、実際の結果とは異なる場合があります。記載された情報の誤りおよび本資料に記載された情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、当社は一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に記載された将来に関する記述等についてアップデートする義務を負うものではありません。



中部電力